



ロータリーは機会の扉を開く

9月は基本的教育と識字率向上月間

2020 - 2021 年度

RI会長 ホルガー・クナーク

ヘルツォークトゥム・ラウエンブルグ・メルンRC (ドイツ)

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 石黒秀司
 ガバナー補佐 佐久間弘行
 会長 菅野浩司
 幹事 斎藤孝裕

1. 例会最重点主義で、例会出席者の純増・出席率を高める。
2. 会員増強目標
3. 福島職業宣言文化
4. 青少年ショート交換事業実施への研究
5. 横断的な委員会ジョイントでの活動強化
6. ロータリー賞への挑戦
7. ロータリー財団への理解と活用
8. 米山記念奨学会への協力

◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋

事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433

通算

ロータリーの友月間(日本独自の月間)

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

第9回 [3017] 例会報告 令和2年(2020)9月17日(木)

出席委員会報告

会員総数 39名

出席会員 29名

欠席会員 10名

出席率 74.36%

◆開会点鐘 菅野浩司 会長

◆ロータリーソング [それでこそロータリー]

◆四つのテスト 秋葉一彦 職業奉仕委員

◆お客様紹介 齋藤俊雄様 福島しんたつRC【職業分類：企業サービス】

【9月のご家族様お誕生日】…♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪

9月21日 鈴木祐子様(牧子会員) 9月23日 鈴木ヨリ子様(義明会員)

♫ 今週の誕生日 ♪♪♪♪ 9月19日 堀切孝敏 会員 ♪♪♪♪

.....lunch time.....



4つのテスト

◆会長の時間



本日も例会出席ありがとうございます。先週はガバナー公式訪問でしたが、ご出席いただきました会員の方、ありがとうございます。石黒ガバナーからは大変ありがたいご指導、ご助言をいただきました。今年度は会員増10%の目標を掲げており、2カ月経っているけどいつやるのかと発破をかけられまして、早速、皆さんには新入会員の推薦をいただきたいと思い、お手元にお配りさせていただきました。ご記入いただき、例会終了後にご提出をお願いするために、筆記用具もご準備しております。これは「エール」でお馴染みの古関裕而さんが実際に作曲の時にお使いになった鉛筆と同じらしいのです。福島市の文化堂さんが復刻して作られました。ドラマを見ている方はご存じだと思いますが、古関さんはピアノなどは使わず、五線紙と鉛筆で、頭の中で曲を描いて作曲していたそうです。文具についてもこだわりがあり、消しゴム付きの鉛筆を好んで使われていたそうです。こちらを是非お使いいただければ、皆さんの頭の中で良い曲を描くのではなく、良い推薦者を思い描いてご記入いただければと思ひまして、今日はご準備いたしました。推薦者ですが、加入見込み度を記入していただければ、パスト会長会で確認させていただきます。

もう一つ、ご報告事項ですが、1920年に東京ロータリークラブが発足し、今年度は日本のロータリーの創立100周年ということで、明日から100周年記念切手が発売されます。是非ご購入いただいて、ロータリーマークの公共イメージ向上のご協力いただきたいと思います。飯坂郵便局の局長さんは、保原ロータリークラブの会員さんですので、ロータリーの切手を買に行くと喜ばれると思います。宜しく願いいたします。

◆幹事報告 斎藤孝裕 幹事

A. 来 信

- ① ガバナー 石黒秀司 氏より
「ロータリーリーダーシップ研修会(RLI)パートII開催の案内」 Zoomを使ったオンライン
- ② 県北第二分区ガバナー補佐 佐久間弘行 氏より
「2021-2022年度ガバナー補佐候補者推薦について」 飯坂RC 安齋忠作会員
- ③ 国際ロータリー理事 辰野克彦 氏より
第49回ロータリーゾーン 1A、2、3
「第49回ロータリー研修会 第2部へのロータリー会長、ローターアクト会長の案内」

B. メーキャップ報告

9/11 県北第二分区石黒秀司ガバナー歓迎晩餐会 菅野浩司、佐藤喜市郎、佐藤真也 各会員
 9/12 地区行事 佐藤喜市郎、佐藤真也 各会員

◆スマイリングBOX 中野哲郎 委員長 【合計52s】

- | | |
|------------|---|
| 斎藤 孝裕会員 5s | ・ガバナー公式訪問日欠席お詫び ・福島しんたつロータリークラブ斎藤様をお迎えて |
| 島 隆章会員 5s | 吾妻さんとうちの社長が新聞にのっていました。今後共よろしく願い致します。 |
| 吾妻 一夫会員 5s | 西山会員のスピーチたのしみにしています。 |
| 油井 明則会員 5s | 西山会員、スピーチ楽しみにしています。 |
| 佐藤喜市郎会員 3s | 福島しんたつロータリー斎藤俊雄様をお迎えて |
| 安齋 忠作会員 3s | 西山会員のスピーチ楽しみにしています。 |
| 石川 邦俊会員 3s | 西山会員のスピーチたのしみにしています。 |
| 生田目正志会員 3s | 西山会員のスピーチたのしみにしています。 |
| 鈴木 重忠会員 3s | 前回欠席おわび |



スマイリング報告

紺野	容樹	会員	3 s	西山会員のスピーチ楽しみにしていました。
鈴木	牧子	会員	3 s	西山会員スピーチ楽しみにしています。
西條	博之	会員	3 s	西山会員スピーチ楽しみにしています。
菅野	浩司	会員	2 s	西山会員のスピーチ楽しみにしております。福島しんたつR C斎藤様をお迎えて
中島	定宏	会員	2 s	西山会員のスピーチ楽しみにしています。
堀切	孝敏	会員	2 s	まもなく誕生日です。
中野	哲郎	会員	2 s	西山会員のスピーチ楽しみにしています。

◆会員スピーチ

西山友幸 会員



私は来週の予定でしたが、急遽、今日ということになりまして、まだ心の準備ができて、とちるかもしれませんがご容赦下さい。菅野会長のお話の時に、よく歴史上の人物のお話をされますが、大変、造詣の深い方だなと感心しておりました。私も多少、そういうことが好きなので、菅野会長の足元にも及びませんが、そのような話をしてみたいと思います。宜しく願いいたします。

私事で恐縮ですが、何年か前に文京区小石川の傳通院という浄土宗のお寺で法事があり行ってまいりました。この浄土宗という宗派は、江戸時代の徳川家と大変深いつながりのある宗派で、法要が行われました本堂には、びっくりするような須弥壇があったのですが、その柱には金箔を貼った『葵のご紋』が木彫りで埋め込んでありました。梁にも何カ所か『葵のご紋』があり、あの本堂の中は江戸時代ではないかと錯覚を覚えるくらいでした。また、外にある墓地の奥に行きますと、いかにも古い石でつくった門がありまして、その先には2mくらいの礎石が置いてあって、見上げるほどの墓石があって、脇にある文京区教育委員会の説明文の立て看板には、徳川家康の母親「於大の方」が眠っている墓地であると書いてありました。また、もう少し奥の方に目をこらしますと、そこにもびっくりするような3mの墓石がありまして、教育委員会の碑を読んでみますと、豊臣秀吉の息子、豊臣秀頼に嫁いだ千姫、徳川家康の孫娘の千姫のお墓であると書いてありました。また、奥の方にも何基もそういうお墓があり、帰り際にお寺の方に、そこは徳川家の身分が非常に高い女性だけが眠っているお寺であると教えていただきました。

話が四百何十年か前に遡ります。織田信長が明智光秀に討たれて、その明智光秀を討つべく、羽柴秀吉（のちの豊臣秀吉）が、急遽、山陽道をUターンして、天下分け目の天王山の闘いで、明智光秀と羽柴秀吉が対決しました。その結果、秀吉が勝って天下取りレースのトップに躍り出ます。やがて、秀吉に最後まで抵抗していた小田原の北条氏が秀吉に降伏をして、秀吉の天下統一が成し遂げられました。そこで、大名の再編成などを行って、件の徳川家康を関東の小田原も含めた江戸を統治するように命じました。今の言葉で言うと「家康は秀吉に江戸に左遷された」という感じだと思います。そこで次の江戸の統治者は徳川家康と聞いた浄土宗大本山増上寺の管主は、徳川家康について、出身や性格、宗派や菩提寺など色々調べたそうです。増上寺の管主は、江戸に散ってあります増上寺の末寺の関係者を全て増上寺に集めて、「今度の江戸の支配者は徳川家康殿である。家康殿の江戸入部の際は、浄土宗一門全山をもってもてなすように」と指示したそうです。やがて、家康が入部することになりました。江戸に入った途端に、何千人何万人という人の大歓迎を受けて、家康はびっくりして涙を流して喜んだそうです。そこで、家康はあることを言いました。それは「以後、江戸の徳川家の菩提寺は芝の増上寺にする」と言ったそうです。増上寺の管主はこの言葉が欲しかったのです。それから、徳川時代が始まりまして、徳川家の庇護を受けて、浄土宗の関係のお寺はものすごく栄えました。

家康の心境からすると天下人の夢はまだ消えませんが、じっとナンバー2の座に甘んじながら、秀吉の死ぬのを待っていました。秀吉の死後、その時を待っていたように、天下取りのために動き始めます。大義名分をとるのに色々な策を弄しました。京都に方広寺というお寺があります。そこには今は何もなく大きな釣鐘だけがあるような京都の観光客は誰も来ないような所ですが、家康が秀吉の息子の秀頼に命じて作らせた大きな釣鐘で、そこには「国家安康君臣崩落」という言葉があり、「国家安康」という言葉は「家」「康」を分断する不吉な文言であるとうようなけちをつけて、豊臣にプレッシャーをかけ、向こうから戦を仕掛けるように家康はしました。皆さんご存じの天下分け目の関ヶ原でぶつかって、家康が勝利して幕府を開くということになります。

関ヶ原の戦いでは、両者共に日本国中に声をかけて、味方を募ったわけです。家康についたのはだいたい東側の大名です。三成についたのが西の大名。その有名なのが薩摩や長州です。幕府を開いて260から270年、その後戊辰の役が起こって、徳川幕府が潰されましたが、その時に主導権をとったのが、薩摩、長州、土佐です。その共通点は、先祖が関ヶ原で石田三成に味方した大名です。幕末の坂本龍馬や西郷吉之助は先祖の仇であると、先祖の汚名を晴らすということで、「打討幕府」「打倒徳川」に立ち上がり、それが明治政府をつくる原因になり、戊辰戦争という、鳥羽伏見の戦いですが、その辺から始まります。その後、江戸が無欠開城をしましたが、残党は北に逃げて、白河、会津の鶴ヶ城の悲劇、函館の五稜郭で幕府は滅んで、明治政府ができたというのが戊辰戦争です。余談ですが、幕府には「徳川のやり方は古い、屋台骨が腐っている、なんとかしなければいけない」という考えの人がおりました。小栗上野介という大変優秀な人でした。先ほどの薩長軍が東海道、中山道、北陸道を攻めてきて、江戸を滅ぼすというところまで来た時に、幕府の会計を預かっていたのが小栗上野介です。江戸城の棚倉から金銀財宝を持ち出して、今の甲州街道のどこかに埋めたそうです。それが今でも言われている徳川埋蔵金伝説で、まだ見つかっていません。本当かウソかわかりませんが、甲州街道は今の山梨県の甲府で、金がとれ、今の青梅街道から甲州街道のその辺は幕府の天領ということで、幕府の直轄地としていたので、幕府に味方する人はいっぱいいたそうです。そのどこかに小栗上野介は金銀財宝を埋めたと言われております。

色々とはめどない話をいたしました。なかなかストーリー性が保たなくて申し訳ありません。ご清聴ありがとうございました。